

## 研究課題名 直腸切断術を施行したクローン病症例の臨床経過の検討 に関する情報公開

### 1. 研究の対象

2003年1月1日～2018年12月31日までに当科でクローン病に対して手術を受けられた方。

### 2. 研究目的・方法

クローン病に合併する直腸肛門病変のうち、内科的治療やseton法をはじめとする局所外科治療で改善しない難治性病変は直腸切断術を含む人工肛門造設の適応となる。近年、内科的治療の進歩にもかかわらず、患者数や長期経過例の増加に伴い、直腸切断術を要する症例が増加している。直腸切断術を施行したクローン病症例の臨床経過と予後を明らかにすることを目的に、クローン病に合併した難治性直腸肛門病変に対して直腸切断術が施行された患者を対象に、直腸切断術前の状態、直腸切断術の適応となった病態、術後合併症を含めた長期経過について後方視的に検討します。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

病歴、病理所見、手術記録等

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋市昭和区鶴舞町 65 052-744-2250

消化器外科二 助教 服部 憲史

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科総合医学専攻病態外科学 講師 中山 吾郎